

山県市オリジナル演劇「やまがたりⅢ」(仮称)

市内に残る民話を題材にした市オリジナルの創作演劇です。

ふるさとを想い、未来を夢見る人びとの愛や絆を描いた感動物語を、ぜひご覧ください。

- ▶ **出演** 熱い想いで集った一般公募のみなさん
劇団そらのゆめ
- ▶ **公演日** 8月20日(土)、21日(日)
13時30分開場 14時開演
- ▶ **場所** 文化の里花咲きホール
- ▶ **入場料** 全席自由 一般 1,000円
高校生以下 500円
- ▶ **主催** 市教育委員会



チケット近日発売

メンバー募集

第12回花咲きコンサート「市民による第九合唱」

ベートーヴェン交響曲第九番第4楽章の合唱に参加する人を募集します。

- ▶ **日時** 12月4日(日)
- ▶ **練習日** 8月27日以降の毎週土曜日19時~21時(予定)
- ▶ **場所** 文化の里花咲きホール
- ▶ **参加条件** 中学生以上、練習に参加できる人(市内外を問わず)
- ▶ **会費** 3,000円(家族割引、学生割引有り)楽譜：希望者のみ700円程度
- ▶ **内容** ベートーヴェン交響曲第九番第4楽章の合唱ほか



山県市役所ロビーコンサート ランチタイムコンサート

- ▶ **日時** 6月14日(火)12時~12時45分
- ▶ **出演者** ついきさとみとフラガールズ(ピアノ弾き語り・ダンス)
- ▶ **主催** 花咲きホール・花咲きホールボランティア

▶ **チケット取扱場所**
花咲きホール 会計課
高富・美山中央公民館

▶ **チケット取扱時間**
開館時間 9時~17時
(閉館・休館日を除く)

★花咲きホールボランティアスタッフ募集★

花咲きホール公演の受付・会場・接待・企画運営など、イベントスタッフとしてご協力いただける人を募集しています。市内外在住を問いません。

図書館からのお知らせ

☎TEL36-3339

開館時間延長について

次の期間中は開館時間を1時間延長します

▼期間

7月1日(金)～8月31日(水)

▼開館時間

9時～18時

※高富中央公民館図書室・みやまジョイフル倶楽部図書室は、今までどおりです。

図書館上映会

シアターセットで子ども向けDVD無料上映会を行います。

▼日時

6月26日(日)14時～

▼作品 「小さな世界はワンダーランド Vol.1」(98分)

古本をお譲りします

購入後の年数が経過した本や紙質の劣化した本を無料でお譲りいたします。(絵本、児童書のみ)

臨時休館のお知らせ

蔵書点検と民俗資料整理のため、次の期間中は臨時休館します。

▼期間

6月6日(月)～13日(月)

▼場所 図書館、高富中央公民館図書室、みやまジョイフル倶楽部図書室

古田紹欽記念館からのお知らせ ☎TEL36-1023

第2回 お茶講座

今が旬、今しか味わえない新茶。今回は、日本茶インストラクター藤森茂美さんを迎え新茶にまつわるお話をさせていただきます。「一番茶、二番茶、三番茶の違いは」「味の違いはあるの」など、普段疑問に思っていることを解決しましょう。

- ▶日時 7月10日(日) 13:00～(1時間30分程度)
- ▶場所 古田紹欽記念館 第2展示室・和室
- ▶参加費 講座のみ 500円 講座と抹茶付 800円
- ▶定員 20人程度(要予約)
- ▶内容 新茶に関するお話(日本茶インストラクター藤森茂美さん)、新茶の試飲



七夕さらさら会 ~七夕茶会&陶芸講座~

自分だけのオリジナルランプシェードを作ろう

- ▶時間 7月9日(土)
七夕茶会 13:00～14:00
陶芸講座 14:15～15:15
- ▶場所 古田紹欽記念館
- ▶対象 小中学生(低学年は保護者同伴)
- ▶定員 25人程度(保護者は茶会のみ参加可能)
- ▶参加費 1,500円(抹茶体験・材料費)茶会のみ300円
- ▶内容 七夕茶会：子どもお茶教室生のお点前による抹茶体験
陶芸講座：オリジナルランプシェードの制作
- ▶申込期限 6月26日(日)
定員に達していない場合は随時受付

紹欽さんの○△□

美しく生きることを生涯追求した古田紹欽さんが私たちに問いかけるものとは…?

● 今月のひょうたん

自知という言葉があります。紹欽さんはこの自知について次のように語っています。

「自知とはいいかえれば体験知のことである。(中略)体験を通して知るということは、単に冷たい水を飲んで冷たいと自知するにとどまらない。飲んで感覚的に知るということならだれにでもできる。ここで言うおうとしている自知とは信念として知ることである。自証自悟である。」と。

体験を通し自ら知る努力をしないと、本当の意味で知ったことにはならないのではないのでしょうか。この言葉の持つ本当の意味はとても深いものなのです。

「生きる知恵 日常の禅」

徳間文庫